

トップシェア企業の経営動向に関する調査結果について

(東大阪商工会議所)

【調査時期】 2025年3月7日～3月25日

【調査対象】 163社 (トップシェア製品及び独自の高度な技術を有する市内企業)

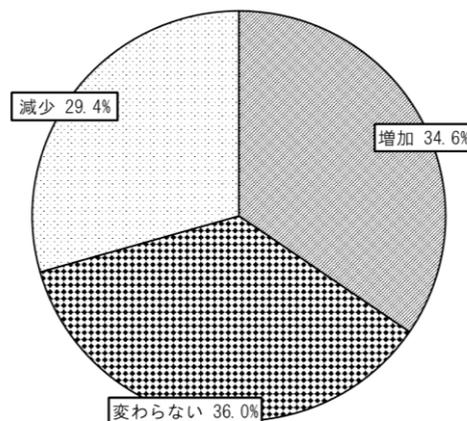
【回答数】 136社 (回収率 83.4%)

【調査方法】 郵送によるアンケート調査

1. 1年前(2024年2月)と比べた売上高の動向について

前年比売上高の増減について尋ねたところ、「変わらない」と回答した企業が最も多く 36.0% (前回: 2022年度調査 27.5%) であった。一方、「増加」と回答した企業は 34.6% (同 46.1%)、「減少」と回答した企業は 29.4% (同 26.5%) であった。前回調査はコロナ禍からの回復期にあり、「増加」が多くみられたが、今回は「変わらない」のウエイトが高まっており、業況は足踏みしているものと考えられる (図1)。

図1. 1年前と比べた売上高の動向



2. 最近の経営上の課題について (複数回答)

最近の経営上の課題について尋ねたところ、「労働力確保と人材育成」が 56.6% (前回 57.8%) で最も多く、以下、「新製品開発や高付加価値化」53.7% (同 43.1%)、「販売力強化」47.8% (同 46.1%)、「コストダウン対策」35.3% (同 36.3%)、「省力化・自動化の推進」31.6% (同 30.4%) などが続いている。前回調査と比較すると、「労働力確保と人材育成」が引き続き高い割合を示しているが、「新製品開発や高付加価値化」が10ポイント超増加しており、付加価値向上による積極的な経営姿勢が伺える (図2)。

図2. 最近の経営上の課題について

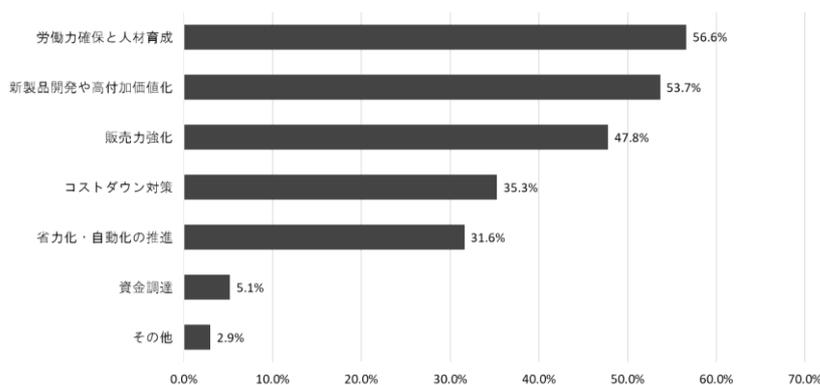
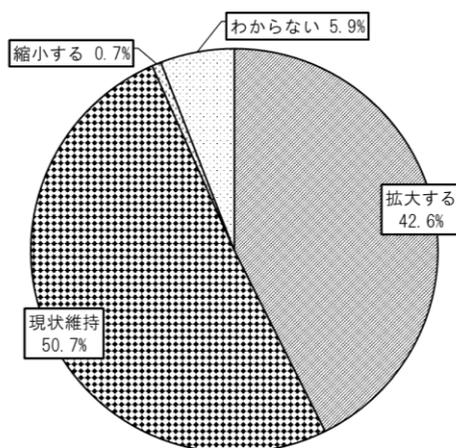


図3. 今後の事業規模に関する経営方針について

3. 今後の事業規模に関する経営方針について

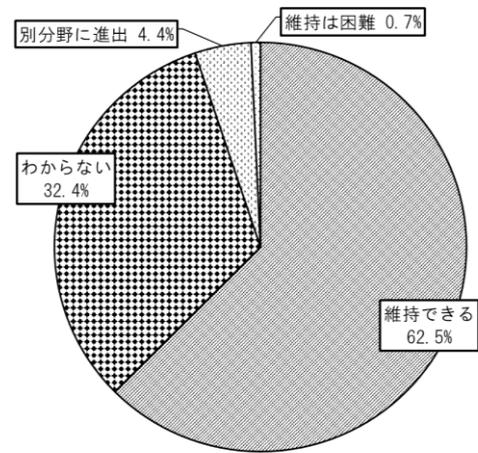
今後の事業規模に関する経営方針について尋ねたところ、「現状維持」と回答した企業が 50.7% (前回 52.9%) で最も多く、「拡大する」が 42.6% (同 42.2%)、「縮小する」0.7% (同 1.0%)、「わからない」5.9% (同 3.9%) と続いており、前回調査と大きな変化はみられない (図3)。



4. 業界における今後のシェアや地位について

業界における今後のシェアや地位について尋ねたところ、「シェアや地位を維持できる」と回答した企業は62.5%（前回65.7%）、以下、「わからない」32.4%（同23.5%）、「別分野に進出する」4.4%（同8.8%）、「シェアや地位の維持は困難」0.7%（同2.0%）と続いており、前回調査と比較して「わからない」の増加が目立ち、先行き不透明感が伺える（図4）。

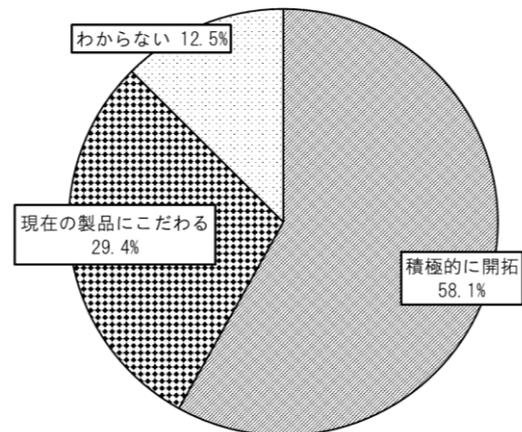
図4. 業界における今後のシェアや地位について



5. 新規分野への進出について

新規分野への進出について尋ねたところ、「積極的に開拓」と回答した企業が58.1%（前回54.9%）。以下、「現在の製品にこだわる」29.4%（同36.3%）、「わからない」12.5%（同8.8%）と続いており、新分野開拓意欲がやや高まっている（図5）。

図5. 新規分野への進出について



6. 上場の意向について

上場の意向について尋ねたところ、回答企業136社のうち、3社（前回3社）が「ある」と回答した。

7. 2025年の設備投資について（複数回答）

2025年の設備投資（予定含む）について尋ねたところ、「国内で既存設備の改修・更新を行う」と回答した企業が50.7%（前回44.1%）、「国内で新規設備投資を行う」が36.0%（同42.2%）、「海外で既存設備の改修・更新を行う」が9.6%（同8.8%）、「海外で新規設備投資を行う」が5.9%（同5.9%）で、「海外で新規設備投資を行う」が5.9%（同5.9%）で、「海外で既存設備の改修・更新を行う」が9.6%（同8.8%）、「海外で新規設備投資を行う」が5.9%（同5.9%）で、「現時点ではわからない」が21.3%（同15.7%）となっている。前回調査と比較して、国内の既存設備の改修・更新への投資の伸びが比較的大きい（図6）。

図6. 2025年の設備投資について

